



令和6年3月30日

# 園 だ よ り

たかがみねこども園

## ご入園・ご進級おめでとうございます

やわらかな日差しが子どもたちを優しく包んでいます。新年度が始まり、初めての環境に不安や期待など様々な気持ちで胸を膨らませている子どもたち。新しいクラスが居心地いい場所となり、安心して過ごせるよう職員一同努力してまいります。また、子どもたちと一緒に楽しい思い出をたくさん作っていきたいと思います。

一年間、どうぞよろしくお願ひいたします。



### ～ 4月の目標 ～

- ・ 基本的な生活習慣を身につける。  
ご挨拶や身じたくが自ら進んでできるようになる。
- ・ 季節を感じながら、戸外で元気に遊ぶ。  
先生やお友だちと信頼関係を築き、楽しく遊ぶ。



### 21人の新しいお友だちが入園しました★

* たんぽぽ 1 組 ( 0 歳 児 )	4 名
* たんぽぽ 2 組 ( 1 歳 児 )	10 名
* ちゅうりっぷ組 ( 2 歳 児 )	5 名
* さくら組 ( 3 歳 児 )	2 名

先生やお友だちと楽しく遊ぼうね！



人との関わりの中でコミュニケーションを気持ちよくスムーズにしてくれる潤滑油のような役割が「挨拶」です。「おはようございます」「こんにちは」という挨拶をすることで、自然と笑顔になれるだけでなくそこから会話が発展することもあります。また、感謝やお詫びの気持ちの挨拶は、さらに人との関わりを深め、気持ちの良い関係が作れます。私たち大人が率先してすることで、子どもたちも挨拶を交わすことの心地よさと大切さを学んでくれると思います。

## 【子どもが挨拶できるようになるポイント】

### 1. 「挨拶してくれてうれしい!」と伝える

子どもが挨拶をしてくれたらうれしい気持ちを子どもに伝えましょう。保護者のうれしい気持ちが子どもに伝わると自分から挨拶したいという気持ちが生まれ、自然にできるようになります。さらに、「〇〇ちゃんおはよう」などと子どもの名前をつけることで、「自分を受け入れてもらえた」と感じ、承認欲求も満たされます。また、「お友だちなどにも挨拶をすると、うれしい気持ちになってくれるよ!」と伝えてあげることで、家だけでなく外でも上手にできるようになるかもしれませんよ。

### 2. 保護者がお手本に! 子どもと一っしょに挨拶する

保護者から積極的に挨拶する姿を子どもに見せ、一っしょにすることも効果的です。たとえば、子どもがなかなか自分からできないときは、保護者が先に挨拶をして、さり気なく子どもを促します。また、「一っしょに挨拶に行こう!」などと子どもを誘ってあげるのもオススメです。できたときは、たくさんほめてあげましょう。「相手も笑顔になったね」「挨拶できると気持ちがいいね」などのことをそえてあげると、次への自信に繋がります。

### 3. 習慣化するまで継続する

挨拶がしっかりできる子どもは、挨拶が「習慣」になっています。習慣化するためには、継続することが大切です。子どもが朝起きてきたら「おはよう」、家を出るときは「行ってらっしゃい」、帰ってきたときは「おかえりなさい」など、挨拶は日常にあふれています。毎日保護者から笑顔で挨拶されれば、いつのまにか子どもにも自然と身につきます。

### 4. できなくても叱らない

挨拶ができなくても叱ってはいけません。挨拶ができるようになってもらいたいという強い気持ちから、つい叱りたくなってしまうこともありますが、叱られた子どもは、挨拶が楽しくないものと苦手意識を持ってしまう可能性もあります。叱りたい気持ちをグッとこらえて、焦らずやさしく見守りましょう。

お散歩に行ったときや山登りをしたときには自分からすれ違った方に笑顔で「おはようございます!」と挨拶をしている子どもがいます。見ていてとても微笑ましい光景です。きっと普段からご家庭でもお散歩に行った際など、周りの方に挨拶をされているのでしょう。なかには挨拶したいけど、恥ずかしいと思っている子どももいるかもしれません。子どもたちが自信をもって挨拶ができるように、まずは保護者の方が子どもたちや同じクラスの保護者の方へ挨拶を試みましょう。

小さな声での挨拶は相手には届きません。元気のいい挨拶は相手も自分自身も気持ちがよくなります。

